

2009年度の鉄道事業計画

設備投資計画は総額311億円

～伊勢崎線、野田線の連続立体交差化工事に本格着工します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2009年度に鉄道事業において総額311億円の設備投資を行い、安全対策、輸送体系の整備・構築、既存設備・施設の更新改良およびサービス向上施策の推進を継続し、お客さまに安心して、より便利に、そして快適にご利用いただけるように努めます。

なお、今年度の安全投資額は252億円です。

1 安全対策

（高架化工事）

・伊勢崎駅付近高架化工事

伊勢崎線剛志～伊勢崎間において、群馬県の都市計画事業として連続立体交差化工事に本格着工します。今年度は仮線工事他を施工する予定であるが、この工事が完成すると新伊勢崎駅と伊勢崎駅の2駅が高架駅となり、バリアフリーに対応した施設です。また、13箇所の踏切をなくすことで付近の交通渋滞の緩和が図れるとともに、市街地の一体化による総合的な街づくりに役立っています。

・清水公園～梅郷間高架化工事

野田線清水公園～梅郷間において、千葉県都市計画事業として連続立体交差化工事に本格着工します。今年度は仮線工事他を施工する予定ですが、この工事が完成すると愛宕駅と野田市駅の2駅が高架駅となり、バリアフリーに対応した施設となります。また、11箇所の踏切をなくすことで付近の交通渋滞の緩和が図れるとともに、市街地の一体化による総合的な街づくりに役立っています。

（踏切の安全対策）

当社では全踏切について支障報知装置の設置を完了していますが、その内赤外線踏切内の支障物を検知する装置を設置している踏切に「押しボタン」を併設する工事を今年度で完了させ更なる安全性の向上を図ります。

（駅構内の安全対策）

ホームからの転落事故に対する安全対策として、引き続き、非常停止ボタン・ホーム下注意喚起灯および待避口の新増設を行うほか、緊急時・異常時の際にホームから駅事務室にお客さまが通報できる非常用インターホンや、迷惑行為等の警備目的として防犯カメラの設置を進めます。

(防災対策)

大規模地震や風雨時等の自然災害における安全対策として、引き続き高架橋耐震補強、長大橋梁の改修・補強等を推進します。

(その他の設備等)

列車運転士に異常が発生し運転操作不能となった場合に列車を速やかに停止させる装置、各種運転情報等を記録する装置、防護無線の主電源の確保が不能となった場合に非常電源へ切り換える装置の新設および列車が分岐器に速度を超過して進入することを防止する装置の設置を引き続き進め、運転保安度の向上を図ります。

2 輸送体系の整備・構築

(新運転保安システムの構築)

現行のATS（自動列車停止装置）に代え、より高性能なATC（自動列車制御装置：前方に走行中の列車の位置から列車速度を制御する装置）を導入することとし、東上線池袋～小川町間で引き続き工事を進めます。

東武型ATCは、車上・地上間情報伝送装置から得た線路情報（列車間距離・勾配等）によりスムーズな速度制御を実現させるほか、踏切支障時の防護機能や停車駅の誤通過防止などへの拡張性も持たせたものです。

(伊勢崎線・日光線ダイヤ改正)

2009年6月6日(土)の伊勢崎線・日光線ダイヤ改正に向けて、半蔵門線直通車両の増備等を実施し、東京メトロ日比谷線・半蔵門線、東急田園都市線の朝ラッシュ時間帯等の上り直通列車などを増発すると共に、早朝・夜間時に特急「スペーシア」および「りょうもう号」を新設するなど、特急列車の運行時間帯を大幅に拡大し、混雑の緩和と都心方面とのさらなるアクセス向上を図ります。

(野田線CTC化)

野田線において、常時の列車制御と把握を的確に行うと共に、列車乱れ時の迅速な対応、およびお客さまに対する正確できめ細かなご案内ができる体制を整えるため、引き続きCTC（列車集中制御装置）化工事を実施します。

3 既存設備・施設の更新改良

(線路・電気等施設の更新改良)

線路の重軌条化・弾性ポイント化・ロングレール化等の軌道強化工事、橋梁改修等の土木関係工事および駅舎の改修等の建築関係工事や、信号保安、通信、電路および変電関係設備の更新改良工事を推進し、鉄道事業運営に必要な基盤をさらに整備・強化します。

(車両のリニューアル等)

10000系通勤用車両をリニューアルし、車内の快適性と保安度を向上させるとともに、車いすスペースや車内案内表示器等を設置し、バリアフリー化を図ります。

また、オゾン層の保護を目的とした環境対策の推進として、引き続き、車両冷房機の冷媒を代替フロンへ転換します。

(通勤用車両の代替新造)

「人と環境にやさしい、省エネタイプの次世代型車両」をコンセプトとして、バリアフリー・省エネルギー・メンテナンスフリー化により環境負荷の低減を図った50000系車両を5編成50両新造します。

4 サービス向上

(駅施設のバリアフリー化)

ご高齢のお客さまやお体の不自由なお客さまにもご利用しやすい駅施設を目指し、バリアフリー化工事を推進します。今年度は、エレベーターを14駅(35基)および多機能トイレ(個室)を10駅に設置します。

【エレベーター】

線名	設置予定駅	基数	線名	設置予定駅	基数
伊勢崎線	浅草	1	東上線	池袋	1
	せんげん台	2		上板橋	3
	鷲宮	4		上福岡	2
	加須	4		鶴ヶ島	4
	館林	2		高坂	3
野田線	七里	2		小川町	2
	豊春	3			
	豊四季	2			

【多機能トイレ(個室)】

線名	設置予定駅
伊勢崎線	浅草
	鷲宮
	加須
	館林
野田線	七里
	豊春
東上線	上板橋
	上福岡
	高坂
	小川町

(駅施設のリニューアル)

街の顔である駅を、人が集い、輝きのあるものとするとともに、更なるサービス向上を目指して、トイレ・券売機周辺のリニューアル、ウォークインカウンターの設置および発車案内表示器の新增設を行います。さらに、駅の案内掲示器では、ピクトグラムを用いる等、ユニバーサルデザインへの変更を進めるとともに、外国人のお客さまにも安心してご利用いただけるよう「日本語・英語・中国語・韓国語」の4か国語標記をさらに推進します。また、最大のターミナル駅である池袋においては、引き続きウォークインカウンターおよびエレベーターの設置を進めます。

(チケットレスサービスの構築)

今年度、伊勢崎線・日光線の特急で実施している特急券チケットレスサービスを東上線のTJライナー券にも導入し、お客さまの利便性の向上を図ります。

(発車案内表示器)

野田線・東上線の駅において、お客さまに見やすく、わかりやすい発車案内表示器の新設・更新工事を実施し、お客さまの利便性の向上を図ります。

以上